

編集：公立置賜長井病院広報委員会

発行：公立置賜長井病院

令和 4 年 10 月 14 日

公立置賜長井病院 耳鼻咽喉科のご案内

今年春に病院が改築され、耳鼻咽喉科外来も見違えるように明るくなり、受診しやすくなりました。耳鼻咽喉科外来は月曜午後(14:00～15:00)、水曜午後(14:00～15:00)、金曜午前(8:30～11:00)に診察しています。各診察日とも山形大学耳鼻咽喉頭頸部外科から非常勤医師が派遣されており、曜日ごとに担当医が異なります。常勤医師は不在のため、入院加療はおこなっておりません。そのかわり、耳鼻咽喉科常勤医師が 3 名勤務しており 24 時間入院加療に対応している、公立置賜総合病院と緊密に連携して診療をおこなっています。

今回は設備や入院の違いにより、公立置賜長井病院を受診したほうが良い場合と公立置賜総合病院を受診したほうが良い場合があるため、ご案内させていただきます。



公立置賜総合病院
耳鼻咽喉科
櫻井真一先生

○ 公立置賜長井病院への受診をおすすめしたい場合

- 公立置賜総合病院耳鼻咽喉科に通院中で、ご自宅が長井市内や白鷹町にあり公立置賜長井病院のほうが通院しやすい場合は、公立置賜総合病院の担当医に遠慮せずお伝えください。特別な事情がなければご紹介いたします。
- 山形大に勤務する先生に診察してもらいたい場合。専門的な検査や治療が必要な場合は公立置賜総合病院や山形大へ紹介となります。
- 公立置賜長井病院の内科など、別の診療科に通院されている場合。
- 過去に公立置賜長井病院耳鼻咽喉科に通院したことがある場合。
- 過去に花粉症やアレルギー性鼻炎と言われており、鼻汁や鼻閉が悪化した場合。
- 軽いのどの痛み、咳、声がれがある場合。
- 軽い耳の痛みや難聴、耳漏、めまいがある場合。
- 学校検診で鼻炎や耳垢が指摘されたとき。

○ 公立置賜総合病院耳鼻咽喉科へ受診をおすすめしたい場合

- かかりつけの先生から耳鼻咽喉科へ紹介いただく場合。
- 耳、鼻、のど、甲状腺、めまい、アレルギー、嚥下障害などの詳しい検査や手術などの専門治療を希望される場合。
- 強いのどの痛み、咳、声がれがある場合。病状により入院となる場合があります。
- 強い耳の痛みや難聴、耳漏、めまいがある場合。病状により入院となる場合があります。
- 顔面神経麻痺になった場合。病状により入院となる場合があります。
- 鼻出血が止まらない場合。病状により入院となる場合があります。
- 耳、鼻、のどに玩具や魚の骨などが入って取れなくなった場合。

皆様のご参考になれば幸いです。

～発熱等の症状があって受診を希望する方へ～

発熱等の症状があり受診や検査を希望する方については、受診前に必ず病院に電話で連絡をお願いいたします。受診時間は、お電話いただいた際に調整させていただきます。検査場所は、受診時間の調整の際、お電話でご説明いたしますが、現在は、新病院建物北側にて患者様の自家用車の中で検査をさせていただきます。

感染対策の観点から、院内には入らないで指定された駐車場でお待ちいただくようお願い申し上げます。

<発熱外来>

電話受付時間 平日 8 時 3 0 分～ 1 2 時まで

※ 受診時間については、お電話いただいた際に調整させていただきます。

電話番号 0 2 3 8 - 8 4 - 2 1 6 1



山形県に陽性者健康フォローアップセンターが開設されました

★発熱等の症状があり、当院を受診して陽性だった場合

◆ 下記に該当する方は当院から保健所へ発生届を提出し、保健所による健康観察の対象となります。

- ① 65 歳以上の方
- ② 入院を要する方
- ③ 重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与または酸素投与が必要と判断する方
- ④ 妊婦の方

◆ 上記以外の方については、検査時にもご案内いたしますが、山形県陽性者健康フォローアップセンターへWEB登録していただき、自宅療養という形となります。自宅療養中に体調に不安がある場合は、陽性者健康フォローアップセンターにお電話でご相談していただくことになりますので、ご了承ください。

リハビリテーション科おすすめ

自宅でできる かんたん体操

寒くなると動くのが億劫になりがちですね。

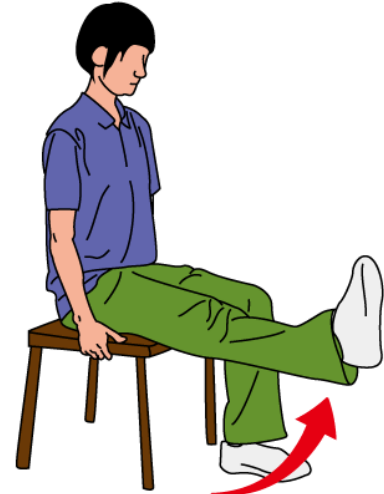
運動不足は筋力低下をもたらし、

痛みや歩行困難の原因にもなりかねません。

というわけで、今回は自宅でできる膝の運動をご紹介します。

※痛みがある場合は無理に行わないでください。

※かかりつけ医の指示に従って運動してください。



膝を伸ばしきったところでとめます

5 秒保持×10 回
左右 2 セット



病棟にトロミサーバーを設置しました

病気や加齢によって飲み込む力が弱くなると、水のようなサラサラした液体はそのまま気管に入ってしまい、おせたり肺炎を起こす原因になってしまいます。そこで、飲み物にとろみをつけると、のどをゆっくり通り、おせたり肺に入りにくくなります。

当院の入院患者さんは高齢の方が多く、ほとんどの方がとろみをつける必要があることから、とろみサーバーという製品を導入しました。とろみの濃さも 3 段階に調節でき、効率よくとろみ付きの水やお茶を提供できるようになりました。



職場紹介 臨床検査科



臨床検査!?!どんなことを検査しているの?どこにあるの?と言う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

最近、コロナ感染のニュースなどでPCR検査とか抗原検査などと耳にすることも多くなりました。私たち臨床検査技師が検査をしているのです。臨床検査技師という職業を御存じなかった方もすこし身近に感じているかもしれません。

当院の臨床検査科は、血液検査・尿検査・心電図検査・肺機能検査・コロナ関連検査など緊急検査を中心に検査結果が診察前に報告出来るよう臨床検査技師2名と検査助手1名の3名で検査を行っています。新しい病院になり検査のための分析装置を更新し、検査室も外来に近くなり働きやすい環境で大変嬉しく思っています。(ちなみに何処にあるかというと放射線科の隣にある採尿室の横で建物のほぼ中央にあります。心電図検査や肺機能検査を行う生理検査室もその並びにあります。)

私たちは毎日「正確な検査結果をより早く」をモットーに、また患者様が緊張せず安心して生理検査を受けられるようにお話しさせていただいたりしながら頑張っています。



血液検査っていろいろあるの!?



採血の時に様々な色の容器に何本も血液をとられるのはどうして?と聞かれることがあります。血液検査と言っても検査の内容で測定する機械や固まった血液で検査するものや絶対固まってはいけないものなど沢山の種類や条件があります。それらに合わせて容器も変わってくるので沢山の容器が皆さんの前に並ぶこともあります。医師の依頼に合わせ、間違いのないように準備しておりますのでご安心ください。検査の事で不思議に思ったり興味を持たれた事があればいつでもお声がけください。



※撮影のため、一時マスクを外しています。

【お詫びと訂正】

「やんばえ令和4年6月1日発行 第75号」に掲載した院内案内図に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 長井市西置賜医師会地域在宅医療連携推進室 (正) 長井市西置賜郡医師会地域在宅医療連携推進室